


2月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	枚方大橋付近～三川合流点付近（大阪府・京都府境界） （左岸25.8km～34.6km）		
モニター実施日時	令和元年2月23日（日） 15時30分頃～16時20分頃		
天 候	晴れ		
<p>（見出し）</p> <p>今月は、牧野パークゴルフ場付近（左岸31.0km）～三川合流点付近（左岸34.6km）の3.6kmについてモニターしました。 設備の不具合（看板の傾き）1件について報告します。</p>			
<p>今年は暖冬の影響か、2月も後半に入ると温かい日も増えてきました。 梅は例年よりも早く、桜も早咲きの品種が既に咲いている地域もあるそうです。 淀川沿いも、これから春に向けて新たな景色を見せてくれると思うと楽しみです。</p>			
			
<p>図：淀川の牧野～樟葉間では水位が浅くなっていました</p>			
<p>樋之上付近の堤防は綺麗に草を刈り取ってあり、見通しがよくなっていました。工事が多く行われていましたので、工事車両が出入りしやすい為もあるのでしょうか。</p>			



図：草刈りされ見通しの良くなった堤防沿いの道路

先へ進むと高速道路の為に橋の土台を作る工事中でした。以前よりも作業機械が増えていました。

この橋が出来れば高槻方面と繋がり多方面からのアクセスが良くなりますね。



図：新名神高速道路の工事

そのままずっと川沿いの道路を進みました。見通しも良く、ゴミのポイ捨てでもありませんでした。

くずはゴルフ場N04ホールのカーブのところ立っている看板が傾いてしまっていました。

自転車で通行する方の為の注意喚起看板ですね。確かにこの道路は緊急車両や工事車両等を通す為のものとして道幅も広いですし、歩行者が少ないこともあってクロスバイクでサイクリングロードの様な使い方をされているのをよく見かけます。非常に危ないので周囲には気をつけて通行してほしいです。必要な看板ですね。



図：傾いた看板

その先では取水管の耐震工事が行われていました。厚生労働省のHPによると2018年3月末時点で、全国の水道管のうち耐震適合性がある管の割合は39.3%、浄水場の耐震化率は約29.1%で、耐震化を急いでいるとのこと。そういえば大阪北部地震はもう2年前の出来事です。あの時も短い時間でしたが断水が起きました。最大断水日数は2日だったようですが、それでも不安を感じたのを覚えています。熊本地震は最大約3ヶ月半、東日本大震災は最大約5ヶ月。どれほど耐震化が大切か感じられる数字です。ライフラインの安定供給に身近なところで取り組まれているのを見て有難い気持ちになりました。



図：取水管の耐水工事

2月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

二月のレポートありがとうございます。

今年は新型コロナウイルス感染症が大流行する兆しをみせています、体調管理には充分留意してください。

川沿いの道路は緊急用河川敷道路といい、平成七年一月に発生した阪神淡路大震災の経験をふまえて整備されたものです。

阪神淡路大震災では地盤の液状化現象化による大阪市此花区西島地区堤防の沈下など河川管理施設の被災が発生しましたが、陸上交通が麻痺したことで河川管理施設の復旧に時間を要しました。

淀川管内では大規模地震や津波に備えた河川管理施設の耐震対策、緊急用船着場及び緊急用河川敷道路の整備を進めています。

このように緊急用河川敷道路は災害時の緊急用車両や河川工事の工事用車両の通行等を目的として整備されたものですが、日常において散歩の方、ランニングの方、バードウォッチングの方や自転車の方が緊急用河川敷道路を利用されることについては特に支障はなく、誰もが自由に使用できます。

様々な場所で様々な目的で淀川を活用することで、淀川の魅力を体感できます。

淀川を利用される方は他の河川利用者や周辺住民に対して危険・迷惑となる行為(危険迷惑行為)はしないでください。

みんなが楽しく安全に河川を利用できるよう、一人ひとりがマナーを守り、まわりに配慮しながら淀川を大いに楽しんでください。

なお、報告していただきました看板につきましては、立て直しております。

楠葉取水場で取水した淀川の水は豊野浄水場で浄水処理され、ここから城東配水場へ送った後、大阪市内の中部や東部に給水されているそうです。

淀川から取水した後、各家庭や事業所等に水道の水が届くまでどれだけの水道施設を経て来ているのかとても想像できないですね。

このように膨大な延長の水道施設に対する総合的な震災対策の取り組み、とても大変な事業だと思えます。

それでは三月のレポートをお待ちしております。